

PROGRAM 7 Robots Can Improve Quality of Life (実施時期：12月／配当時間：8時間)

GOALS：対話：現在の事実とは違うことを仮定して伝え合う。／対話：ロボットの可能性について理解し、伝える。／発表：ドラえものの道具を使った社会貢献について発表する。

言語材料：仮定法過去 〈I wish + 主語 + (助) 動詞の過去形〉

- ① 仮定法過去 (〈If + 主語 + be動詞〉の場合) If my house **were** around here, I **would** come every weekend.
- ② 仮定法過去 (〈If + 主語 + 一般動詞〉の場合) If I **had** an "Anywhere Door," I **could** go anywhere.
- ③ 〈I wish + 主語 + (助) 動詞の過去形〉 I **wish** I **could** get along with people.

課の概要 ダニエルと真央が訪れたカフェには1台のロボットが、AIでの接客と思いきや、実は生身の人と人を結びつけられる発明が隠されていた。

時	コーナー名	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
		知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く		登場人物が相手の立場だったらすることや、自分が動物だったらしたいことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> 仮定法過去 (be 動詞) の意味や働きを理解している。 <技能> 仮定法過去 (be 動詞) の意味や働きを理解をもとに、登場人物が相手の立場だったらすることや、自分が動物だったらしたいことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
2時		Listen	聞く		登場人物や自分がしたいことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> 仮定法過去 (一般動詞) の意味や働きを理解している。 <技能> 仮定法過去 (一般動詞) の意味や働きを理解をもとに、登場人物や自分がしたいことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
3時		Listen	聞く		登場人物や自分の願望などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> 〈I wish + 主語 + (助) 動詞の過去形〉の意味や働きを理解している。 <技能> 〈I wish + 主語 + (助) 動詞の過去形〉の意味や働きを理解をもとに、登場人物や自分の願望などについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
4-6時	Tuning in 本文		聞く 読む	聞く 読む	ロボットの可能性について他の人に伝えるために、対話や説明を読んで、概要や要点を捉えることができる。	【思・判・表】--【主】 ロボットの可能性について他の人に伝えるために、対話や説明を読んで、概要や要点を捉えている [捉えようとしている]。
7時	Review & Retell		発表	発表	ロボットの可能性について他の人に伝えるために、ロボットを用いた共生に関して、簡単な語句や文などを用いて、絵や写真を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。	【思・判・表】--【主】 ロボットの可能性について他の人に伝えるために、ロボットを用いた共生に関して、簡単な語句や文などを用いて、絵や写真を見て、相手に示しながら概要を話している [話そうとしている]。
8時	Action		発表	発表	ドラえものの道具を使った社会貢献について相手に提案するために、自分の考えを道具の機能をまじえながら説明することができる。	【思・判・表】--【主】 ドラえものの道具を使った社会貢献について相手に提案するために、自分の考えを道具の機能をまじえながら説明している [説明しようとしている]。